

令和3年度 第1回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 議事要旨

日時: 令和3年8月30日(月) 15:00~16:00
場所: 静岡国道事務所 2階会議室・WEB併用

1. 議題

(審議)

- (1) 渋滞対策の進捗と効果・影響について
- (2) 今後の渋滞対策について

(報告)

- (3) 主要渋滞箇所のモニタリングについて
- (4) TDM 施策の実施内容・予定について

2. 議事要旨

- ・前回以降の静岡県内の渋滞対策の進捗を確認した。
- ・国道1号掛川バイパスの速度低下対策、国道1号富士由比バイパス宮島東交差点の右折レーン2車線化、県道磐田掛川線の4車線拡幅について実施した渋滞対策の効果・影響を確認した。
- ・国道1号掛川バイパス下り線の西郷IC付近で顕著な速度低下が発生しており、令和2年度より西郷ICオフランプの改良工事に着手していることを確認した。
- ・国道1号安新歩道橋交差点では、西進交通による渋滞及び追突事故が発生しており、令和2年度より国道1号方面レーンの2車線化工事に着手していることを確認した。
- ・国道150号磐南Ⅱバイパスの整備の優先整備区間は令和7年度に完了予定で、現道国道150号の交通量が転換し、掛塚橋の主要渋滞箇所周辺の速度向上が期待されることを確認した。
- ・(主)浜松雄踏線では、(主)浜松環状線との交差点において渋滞が発生していたが、交差点東側の右折帯の延伸が令和3年7月に完了したため、今後交通状況のモニタリングを行うことを確認した。
- ・(市)掛川高瀬線は、実施している道路改良により(主)掛川大東線からの交通転換が促され、速度改善が期待されることを確認した。
- ・国道1号静岡バイパス瀬名IC・鳥坂IC交差点は、朝ピーク時の交通混雑の緩和のため、交差点改良による車線拡幅を検討することを確認した。
- ・国道1号長沼交差点では、渋滞対策として(主)山脇大谷線の立体化事業と長沼大橋架替事業の一体的な実施を対策案とし、今後、国・静岡県・静岡市が引き続き連携し、地域の合意形成を図りながら対策案の詳細検討を進めることを確認した。
- ・国道139号西富士道路広見IC北進オフランプは、ソフト施策を継続するとともに、ハード施策として、ランプ容量拡大対策および(都)本市場大淵線の活用を検討することを確認した。
- ・伊豆縦貫自動車道河津下田道路(Ⅱ期)の河津IC~逆川IC間が令和4年度に開通予定で、この開通により旅行時間短縮や観光バスを含む大型車の迂回解消が期待されることを確認した。
- ・令和3年度の(都)池田終線、(都)谷田幸原線の開通により、JR三島駅から高速道路や県立がんセンターへのアクセス向上や周辺道路の渋滞解消が期待されることを確認した。
- ・主要渋滞箇所のモニタリングは、コロナによる影響を経過観察することを確認した。
- ・磐田市御厨駅周辺企業に対するTDM施策の検討状況について報告があった。